

らいぶスクエア

写真 de 短歌 国語科 6年B組担任 宮脇隼

総合的な学習と関連させた国語科の学習

国語

6年B組担任

宮脇隼



6Bでは、総合的な学習の時間に映像作品作りをしています。ICT機器を使って、面白い動画や写真、和歌山の魅力を高知県の小学生に発信する動画制作を行いました。今回の実践もICT機器を活用した国語科の取り組みとなります。光村図書の教科書には、季節ごとに「季節の言葉」というページがあります。そこでは、子どもにはあまり馴染みのない季節の言葉を美しい写真とともに紹介してくれます。1学期に行った「春」では、子どもたちの想像を膨らませるためにイメージマップを書かせました。子どもたちは「春」を中心とし、様々な言葉を使って俳句を作りました。しかし、その俳句は子どもたちの生活経験から離れ、「『春』ってこんな感じだよ」という一般的な春を集めたものになりました。もっと、子ども一人ひとりの感性が現れる作品を作りたいと考えました。そこで、「夏」は写真撮影も含めて子どもたちの俳句作品としました。

実際に学習をして感じたことですが、子どもたちの中には2種類の作り方がありました。一つ目は、ある程度「夏」をテーマにした俳句を考えながらそれにあった写真を撮影する方法です。二つ目は、あてもなく校内を歩きながら「夏」の写真を撮影しそれに俳句を合わせる方法です。子どもたちの反応としては、二つ目の方でより意欲が高まっていました。写真からのインスピレーションで俳句を作ることによって言葉の感性が磨かれていたように思います。また、写真を共有し、自分ならこんな俳句を合わせるなど話をしている姿も見ることができました。テレビの大喜利のような感覚で俳句を楽しむ姿がありました。



※写真は子どもの作品例